



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：日系米国人/アジア系米国人招へい第2陣（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から日系米国人とアジア系米国人 100 名が 2019 年 2 月 12 日～2 月 19 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

米国：100 名

【訪問地】

東京都（全員）、群馬県（グループA 42名）、秋田県（グループB 20名）、福島県（グループC/D 38名）

2. 日程

	グループ A	グループ B	グループ C/D
2/12(火)	【来日】		
2/13(水)	【オリエンテーション】		
	【学校交流】 明治学院大学	【視察】 海外移住資料館 【講義】 海外日系人協会	【視察】 浅草 【視察】 江戸東京博物館
2/14(木)	【視察】 海外移住資料館 【講義】 海外日系人協会 東京都から群馬県へ移動	東京都から秋田県へ移動 【視察】 秋田市民族芸能伝承館 【表敬訪問】 秋田県	東京都から福島県へ移動 【表敬訪問】 南会津町
2/15(金)	【視察】 桐生新町重要伝統的建造物群保存地区 【文化体験】 天然藍染体験 【ホームステイ対面式】	【視察】 東北運輸局秋田運輸支局 【交流】 秋田大学 よさこいサークル 【ホームステイ対面式】	【文化体験】 会津鉄道お座トロ展望列車体験 【視察】 会津鶴ヶ城 【ホームステイ対面式】
2/16(土)	【ホームステイ】 みなかみ町	【ホームステイ】 秋田市	【ホームステイ】 南会津町

2/17(日)	【ホームステイ歓送会】 群馬県から東京都へ移動 【ワークショップ（報告会準備）】	【ホームステイ歓送会】 【ワークショップ（報告会準備）】	【ホームステイ歓送会】 【ワークショップ（報告会準備）】
2/18(月)	【視察】浅草 【成果報告会】 【講義】グレン・フクシマ先生	秋田県から東京都へ移動	福島県から東京都へ移動
2/19(火)	【表敬訪問】 藺浦内閣総理大臣補佐官 【離日】	【表敬訪問】 辻外務大臣政務官	

3. プログラム記録写真

全グループ（東京都）

	
2/13 【オリエンテーション】	2/18 【成果報告会】

グループ A（群馬県）

	
2/13 【学校交流】 明治学院大学	2/15 【文化体験】 天然藍染体験

グループB（秋田県）



2/14【視察】
秋田市民族芸能伝承館（ねぶり流し館）



2/15【交流】
秋田大学 よさこいサークル

グループC/D（福島県）



2/14【表敬訪問】南会津町



2/15【文化体験】
会津鉄道お座トロ展望列車体験



2/16【ホームステイ】南会津町



2/17【ホームステイ歓送会】

4. 参加者の感想（抜粋）

グループA（訪問地：群馬県）

◆ 米国 大学生

海外移住資料館での講義についてとても感謝しています。講義を通じて、日系人であることの意味についてより深く考える機会となりました。それは同時に自身のアイデンティティという自分の重要な部分を再考するきっかけにもなりました。私は日本人には見えないかもしれませんが、私はその一員であり、日本人社会により深く関わりたいと思うようになりました。ホームステイでは、ホストファミリーの皆様が暖かく私たちを迎え入れてくださり、皆様が時間をかけて、また愛情をもって色々なお気遣いをしてくださったことに感謝しています。桐生市、みなかみ町を訪問して、私たちが想像する世界と異なる日本の姿を見ることができたことは本当に楽しい経験となりました。私は、都市と地方の差異はあまり無いと感じました。双方は繋がっており、都市から離れた地方で過ごした時間はとても貴重な時間となりました。

◆ 米国 社会人

今回の交流プログラムで最も記憶に残る経験は、みなかみ町でのホームステイでした。今回の滞在における私の目標の一つは、日本文化に浸るということでしたが、このホームステイがそれを実現してくれました。日本人の典型的な生活がどのようなものかがわかり、楽しかったです。食事から温泉まで、このような体験を直接することができ、興味深かったです。私たちのホストファミリーは英語を話さなかったのですが、色々な表現の仕方、ジェスチャー、そして先端技術で文化的な違いを超える方法を見つけました。ホームステイの体験は一生に一度の機会であり、参加できたことに感謝しています。

グループB（訪問地：秋田県）

◆ 米国 学生

講義は大変興味深く、アメリカへの日本人の移民、車検制度や車の政策、日本の文化、秋田県、経済産業、竿灯祭りなどを学びました。講義から日本の歴史、文化を知りました。学生交流も楽しく多くを学びました。日本の学生とは最初緊張したもののすぐに打ち解けました。ホームステイは印象的で、伝統的な家屋に滞在したことは、素晴らしい経験となりました。食事米も米国とは違いとてもおいしかったです。きりたんぽやだまこを作り食べました。ホストファミリーは優しく、親切で思いやりにあふれていました。ずっとこの思い出を胸に秘めていきます。自由時間には都市を探索し、おいしい食べ物を食べ散歩をしました。日本のコミュニティーの中でユニークで素晴らしい経験をしました。

◆ 米国 学生

日本の自動車産業の傾向、特に高齢化社会における高齢者の利用の推進を目的としていることなどを学び、大変面白かったです。大学の同好会の皆さんとのよさこい踊りは大変楽しく、秋田大学への学校訪問があればよかったと思います。秋田県では歓待を受け、地元の人々の個性や独自性を維持できるように文化や人々が支え続けてほしいと思いました。最も印象に残っているのはホームステイで、ホストファミリーは素晴らしい方々でした。秋田名物の品々、切り干し大根などをたくさんいただきました。とてもお

いしかったです。小さな息子さんと一緒に作ったかまくらは、今まで見たこともない雪の中で素晴らしい貴重な経験となりました。

グループC（訪問地：福島県）

◆ 米国 社会人

皆さんが自分の町にとっても誇りを持っていることが素晴らしいと思いました。地元産の木材をたくさん使っている庁舎についての様々な説明がありました。町のマスコットについて、とても熱く語ってくださいました。また地方自治体が直面している複雑な問題も含め、私たちの色々な質問にとってもオープンに答えてくださいました。

◆ 米国 学生

ホームステイの経験は忘れがたいものになりました。私のホストファミリーは、大きな言葉の壁があるにもかかわらず、愛情いっぱいに接してくださいました。その優しさには感謝しつくせません。南会津の素朴な美しさや日本の伝統的な生活も見せてくださいました。生活の単純なものごとを受け入れて大切にすることは、とても大切な教訓で、多くのアメリカ人が学ぶべきものですし、私自身も常に心に留めておくつもりです。この旅行で私は多くのことを学びました。この経験が今後どのように私に良い影響を与えてくれるかを見るのがとても楽しみです。

グループD（訪問地：福島県）

◆ 米国 大学生

南会津町役場は、開放的で、大きな窓がありました。そこで働いている人がすべて、例えば教育課や土木課の人が皆で一緒になって、町全体のために働いているように見えました。南会津町では、地方としては驚くほど強力なWi-Fiがありました。そしてWi-Fiがない近所の人、道を渡ったところに住む隣人に借りていました。私たちのホストファミリーのお母さんは、率直で寛大な人で、町のすべての人を知っていました。そして地元について大変しっかりした意見を持っていました。場所によっては、ところどころ色あせているところがありましたが、どこに行っても歓迎され、くつろいだ気持ちになりました。日本人はあるものを使って勤勉に働きますが、それが今回良く分かりました。また、全てのものが効率的で、驚くほど良く計画されていると思います。

◆ 米国 社会人

南会津町役場を訪れ、役場の方たちと質疑応答を通じて関わりを持つことができて面白かったです。私たちは現在、南会津町が直面している課題、復興の努力、観光政策、医療制度等の様々な質問をしました。役場の方たちは、これらの質問に対して率直に意見交換をしてくれました。私がとても好きだったプログラムは、ホームステイです。なぜなら、受け入れ家庭の仕事（木工所・そば作り）の話や、お孫さんとの交流を通して、日本の一般の家庭とつながることができたからです。また、家に置いてある写真を見たのですが、ホストファミリーが折り紙、書道、近所の神社に参拝したり行事に参加したりして、日本の様々な伝統文化を守っていることにも、感銘を受けました。

5. 受入れ側の感想(抜粋)

◆ ホストファミリー (グループ A)

今回初めて日系アメリカ人女性3名を受け入れました。日系の方は、みな家系をよく知っていて、アルバムを見ながら家族の説明をしてくれました。帰国後も頑張ってもらいたいという願いを込めて、群馬県の有名な「だるま」をそれぞれに贈りました。自分の目標や家族の幸せを願い、それがかなったら両眼を入れることも説明しました。3名はなんでも挑戦できる年代。日本に来たこともその一つだと思います。いろいろな体験をして頑張ってもらいたいと思います。

◆ ホストファミリー (グループ B)

日本の料理にとっても感激してくれました。雪深い秋田でかまくらを作ったり、雪まつりで火ぶりがまくらの体験等、大変喜んでくれました。7歳の息子と言葉は通じなくても一緒にゲームをしながら、私たちも大変楽しい2日間になりました。

◆ ホストファミリー (グループ C/D)

福島のことを理解していました。福島の安全と安心をアメリカで広く伝えてくれると聞きました。雪下野菜等をとてもおいしいと食べてくれました。

◆ ホストファミリー (グループ C/D)

初めてホームステイを受け入れてこんなに楽しい日を送れるなんて思ってもみませんでした。皆さんすごく良い方で、子供たちとも仲良く遊んでくださり、私たちにも良くしていただきました。日本語も話してくれて本当に楽しい2日間でした。

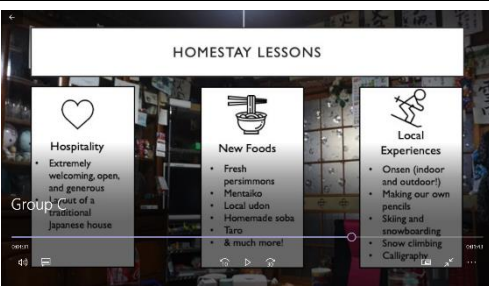
6. 参加者の対外発信

	
(グループ A) 学校交流についての発信 (Facebook) 米国人, 中国人, 日本人, 韓国人が皆1枚の写真に納まっている! 今日には明治学院大学で楽しい人たちに会った。それぞれの違いを乗り越えて世界の偉大なる国々に橋を架ける。私たちは結局のところそんなに違っていない!	(グループ B) 視察についての発信 (Facebook) 田沢湖クニマス館, 着物, 仙北市にて。

 Zenith Azad Farin is with Merielle Macaraeg. 15 February at 08:29 · 🌐 About to embark on a scenic train through Minamiaizu, a small town in the Fukushima Prefecture of Japan while sitting on traditional kotatsu! Alhamdulillah this trip has been amazing! #Kakehashi2018 #blessed	 Post ♥️ 💬 📌 Liked by its.ale.not.alex and 66 others tararararawr First part of the Kakehashi trip we went to Asuka-dera, a Buddhist temple. I tested my luck and got an omikuji saying I'll have "best fortune". Then we went to the Edo-Tokyo Museum. It had replicas of buildings from the Edo Period and extremely detailed town replicas. #kakehashi2018 #japan #usa #asukaderatemple #edotokyomuseum xuan.lake One of the best museums! ❤️
(グループ C) 文化体験についての発信 (Facebook) 日本の伝統的なこたつに入りながら景色を楽しむお座敷列車の旅を福島県の南会津で体験しました。	(グループ D) 視察についての発信 (Facebook) カケハシ・プロジェクトの初めに仏教のお寺である浅草寺に行きました。運だめしにおみくじを引いて大吉が出ました。その後、江戸東京博物館を訪れました。ここでは、江戸時代の建物のレプリカがあり、非常に細かく作られています。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

• Action Plan: What • Delegates will be meeting family, community and friends in the US and many will return to Japan to study abroad. • Others will get involved with the JACL	How we'll share our experiences • Kakehashi Project Facebook page • Individualized posts ◦ Testimonials ◦ Facts about Japan ◦ Local Events ◦ Word of the Day • Merchandising (?) ◦ T-shirts, stickers, etc.
アクションプランの発表（グループ A1） 今回の滞在中にインスタグラム，フェイスブック，Snapchat といったソーシャルメディアを通して発信したところだが，帰国後は日本文化に対してあらためて深く認識したことや自分たちの先祖とのつながりを強く感じたこと，地方都市訪問で得た新しい経験を共有したい。 • 帰国後は家族，コミュニティ，友人と会い，将来的に再び日本に戻り学ぶ機会を見つける。 • JACL の活動に関わる。	アクションプランの発表（グループ A2） • カケハシ・プロジェクト参加者の主導の下，独自のフェイスブックを立ち上げる。 • カケハシ・プロジェクト参加者がフェイスブックのスケジュール管理を実施し，適宜内容を更新する。 • 今グループ参加者及び新しく参加者を募り，JACL と連携して管理運営に携わる。 • カケハシ・プロジェクト参加者は地元の JACL と連携して更なるイベントの機会を創出する。 誰に対して実施するか？ 日系米国人，日系アジア人，若者，学生，友人，カケハシ・プロジェクト参加者及び同プロジェクトに関心のある人々 誰が実施するか？ 今回のプロジェクト参加者及び以前の参加者，新しく出会った人々 いつ実施するか？ 帰国してすぐに実施

 When? (いつ) ◆ When we get back to the U.S. we will be excited to share our favorite and most memorable experiences immediately. ◆ Within the next three months, we will continue to post on our social media platforms about Japan and our experiences here. ◆ While the application for the Kakehashi program is open we will post reminders for others to apply. ◆ We will continue to share our experiences and knowledge through the years.	 HOMESTAY LESSONS Hospitality • Extremely welcoming, open, and generous • Gift of a traditional Japanese house New Foods • Fresh persimmons • Mentaiko • Local udon • Homemade soba • Taro • & much more! Local Experiences • Onsen (indoor and outdoor!) • Making our own pencils • Skiing and snowboarding • Snow climbing • Calligraphy
アクションプランの発表（グループ B） • SNS（写真，ビデオ）の活用，友人家族に直接話したりお土産を渡したりすることで経験を共有する。 • 再来日したり，カケハシ・プロジェクトの情報を個人レベルでまたは SNS で共有したり，家族や友人を日系イベントや名所に連れていくなどして，観光促進に貢献する。 • JACL 支部のイベントや全米会議，Nikkei Resisters，AAPI 団体など日系コミュニティと関わる。 • 帰国後すぐに，楽しく印象に残っている経験について共有する。 • 3 か月以内に SNS で日本と私達の経験を発信する。 • カケハシ・プロジェクトの応募を忘れないよう SNS で発信する。 • 引き続きこの経験と知識をこの先何年もかけて伝え続ける。	アクションプランの発表（グループ C） 日本での経験を SNS（フェイスブック，インスタグラムなど），ビデオ（YouTube），ブログなどで学生グループ，校内・地元紙やセミナーで伝える。 写真やビデオの投稿だけでなく新聞・雑誌（紙・デジタル媒体），ロコミ，お土産なども活用する。日本で習った料理やテクニックも共有する。
 COLLECTIVE ACTION PLAN! • University Student Panel • Keeping in touch with other participants + w/ host family • Show Japanese films/screenings • Reach out to other student groups on campus (universities/clubs)	
アクションプランの発表（グループ D） グループのメンバー全員が • 大学の学生組織で話をする機会を設けて，日本での経験を皆と共有する活動を行う。 • ホストファミリーや今回の参加者と今後も連絡を取りあって交流を続けていく。 • 日本映画やスライドの上映を行う。 • 他の学生団体とも協力し合う。（大学・部活動）	